

協 経営者・管理職
ト 研修会を開催



【滋賀】滋ト協(田中亨会長)は16日、

経営者・管理職研修会を開催。「安全走行に活かそう!健康管理セミナー」定期健康診断の有効活用」をテーマに、ヘルスケアネットワーク(OCHIS)の作本貞子副理事長と黒田悦子保健師が

講演した。

作本副理事長は、「事業者における安全と健康管理対策の進め方」をテーマに、「健康起因事故防止マニュアル」の活用

法と重点項目の解説を行った。健康起因事故と新たな行政処分などを紹介したうえで、定期健康診断の実施と有効活用は「安全と健康対策の根幹となるもの」と

強調。また、睡眠時無呼吸症候群(SAS)対策については、SASと健康起因事故との関連性を挙げ、トラック運送業界

におけるSAS確率は、約4割にも迫ることを指摘した。出席者からは、SASの重症者という社員がいる事業者から、治療に前向きではない社員への指導方法に関する質問が行われた。

続いて黒田保健師が「定期健康診断のフォローアップの手法について」をテーマに、運輸ヘルスケアナビシステムを活用している事業者の効果や、ドライバーの健康意識変化などを紹介。ある事業者

の在職者の4年間にわたるハイリスク者

追跡結果は、初年度が44人だったものが5人にまで改善されている。また、健康づくりとしての活用方法として、ナビシステムの活用とともに、健康イベントを開催し士気を高めるという事業者事例を紹介した。

運輸ヘルスケアナビシステムは、納品後1年以内の無料サポートとして、システム運用に関する定期レポートやSAS&NAVIお悩み無料相談会などを行っている。

(木村麻理奈)
(レイアウト・早瀬勇二)

ト